



マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

16の視点 一般質問

気になるキーワード、
どれですか？



議員が独自の視点で市に考えを聞く一般質問は今回16名が登壇。
16のキーワードから興味あるページへどうぞ。議員の解説も必見です！
(一般質問全編は各議員のQRコードから録画映像でご覧いただけます)

子育て支援 帯状疱疹予防 今後の農業 子供の権利 障がい者就労 予防接種補助 農業振興施策 持続可能都市 公共トイレ キヤリア教育 農業問題 後遺症の相談 道路除雪計画 少子化対策 施設維持管理 公共交通

P.13 P.12 P.12 P.11 P.11 P.10 P.10 P.9 P.9 P.8 P.8 P.7 P.7 P.6 P.6 P.5

質問項目▶ プレコンセプションケア アドバンス・ケア・プランニングと意思決定支援 **子育て支援**



録画映像

子育て支援の更なる展開を

たかはした えこ
高橋妙子
(新風つばめ)

答弁 市の子育て施策を効果的に発信していく



問

こどもの森は、中高生を含む18歳までの

利用できるように、こどもの森と役割の違いを踏まえ、「子育てするなら燕市で」を全国に知ってもらえるよう、取り組んでいく必要がある。

答

令和6年度オープン予定の全天候型子ども遊戯施設に隣接しているこどもの森では、様々なイベントが開催され、子育て支援機能も有している。2つの施設の可能性を發揮し、「子育てするなら燕市で」を全国に知ってもらえるような将来の展望を伺う。

問

令和6年度オープン予定の全天候型子ども遊戯施設に隣接しているこどもの森では、様々なイベントが開催され、子育て支援機能も有している。2つの施設の可能性を發揮し、「子育てするなら燕市で」を全国に知ってもらえるような将来の展望を伺う。

答

対象年齢を限定せず、様々なイベントや講座を実施している。学生の参加が見込めるイベントは、チラシやポスターを市内中学校や高校に送付するなどして呼びかけている。



駐車場には屋根を設置。雨や雪の日でも傘を差さずにはベビーカー等で入館できます(イメージ)



マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークーしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ 持続可能都市の実現



自治会と共に住みよいまちに

こばやしよしあき
小林由明
(新風つばめ)



答弁 確実に一步一步取り組んでいきたい

問 住民と自治会の問題は、訴訟に発展している事例もある。地域自治の問題が、移住定住や地域社会継続の阻害要因となることを、他自治体でも聞いている。

地域自治の見直しなく進められると、人口減少社会では地域社会の消滅を招く。自治会負担軽減や運営に関心を持てる機運醸成や、

答 超高齢社会、人口減の中、燕市は継続をかけた定住人口増に取り組み、成果は高い評価がある。一方で、広報紙が配布されない、自治会費が高い等、自治会運営が原因で定住に至らず、転出される事例もある。また、自治会費の使途に疑問に思う問合せも多く、高齢世帯からは自治会費負担の切実な声が増えている。

移住定住の促進と移住先地域との温度差は大きい。住みやすさに影響する自治会と問題を共有し、持続可能で住みよいまちを共に目指す取り組みが必要である。

自治体の現在の課題

自治会の現在の課題	団体数	割合
全体	1,142	—
役員・運営の担い手不足	984	86.1%
役員の高齢化	946	82.8%
近所付き合いの希薄化	676	59.2%
加入率の低下	608	53.3%
行政からの依頼事項が多い	414	36.2%



高齢化が主原因なのだろうか？課題の本質は？

出典：内閣府「持続可能な自治会活動に向けた男女共同参画の推進について（平成29年3月）」の報告書のアンケート調査から作成

自治会と共に、定住人口増、住みよいまちの実現に取り組んでいくべきではないか。

答 これまでも複数の議員から指摘があり、訴訟事例も承知している。今回、第3次総合計画策定において、自治会支援も意識して盛り込んでいる。課題を認識し、一步一步取り組んでいく考えである。

質問項目▶ 公共施設のトイレ おいらん道中 桜並木



公民館等のトイレを洋式化に

タナカ・キン
(市民クラブ)



答弁 洋式化は計画的に順次検討していきたい

答 燕では燕中央公民館と南公民館、東公民館、吉田では吉田公民館と吉田北公民館、栗生津公民館の6館が100%である。また、小中川公民館が72.7%、川前公民館が57.1%、西燕公民館と松長公民館が40%、小池公民館が33.3%、藤の曲公民館が20%、分水の分水公民館が

問 公民館等の公共施設は地域の人が集う場所である。高齢化社会にあつて、トイレが和式だから行きづらいようでは困る。

答 文化会館2階の展示ギャラリーは、絵画グループを中心に利用団体も多い場所である。現在、トイレが和式なので足腰が弱つていたり、膝が悪い方にはとても使いづらい。改善すべきと思う。

答 男女とも和式であり、ご不便をおかけしている。今後改修を検討する。中央公民館や吉田公民館のトイレは全て洋式である。他の公民館の洋式化率について伺う。



燕市文化会館2階の和式トイレ利用者に配慮した整備を求める

問 29.2%となっている。公民館、地区公民館合わせて13館ある中で、洋式化が100%でないのは不公平である。特に分水公民館については、ほかに先駆けて改修する必要がある。

答 築40年近く経っており、改修と併せて一緒に考えていく。

質問項目▶ 子供のワクチン接種補助 プラスチック資源循環 柏崎刈羽原子力発電所 新潟県央基幹病院



インフルエンザ補助拡大を

ながい ゆきお
長井由喜雄
(日本共産党議員団)



答弁 一步一步でも前に出られるように検討したい

問 原発再稼働に関して花角知事が「立地自

答 後発で開始した自治体ほど充実傾向となっている。この現状を踏まえつつ、やはり一步一步前に出られるように検討していきたい。

問 子供と子育て世代応援により、他市町村では拡充されているところが多い。新型コロナウイルスと並行感染の中、抵抗力が弱まっている子供達の接種率を上げることは大事ではないか。補助の額、年齢、回数の拡大を求めるが、いかがか。

問 燕市の「小学6年生まで1回のみ1000円補助」は2009年に開始され15年を迎えた。実施している30自治体中21自治体では、補助の額、年齢、回数ともに最下位となり、それぞれの拡大を求めた。また、柏崎刈羽原発の再稼働問題も県民の命・生活にとって深刻な局面を迎えている。



2回の接種で9000円前後かかるのが現状です

自治体以外の自治体の意向をまとめて意思表示を行うことで、広域自治体としての役割を果たしたい」と述べた。市長の信の問い方の見解はどうか。

答 しつかり信を問う、それを具体的にどうするか説明し、問い方も納得があるような形で知事から提案していただかなければと考える。

質問項目▶ 燕市における農業振興策



これからの農業振興のあり方

おおしま やすひろ
大島靖浩
(新風つばめ)



答弁 新規就農者・若手農業者への育成に注力

問 新ブランド米の立ち上げとスマート農業の活用促進について伺う。

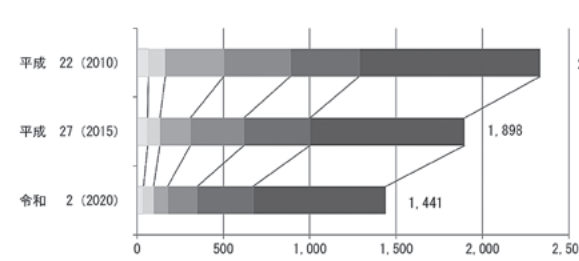
答 将来的な課題として見据え、「飛燕舞」などの知名度をより高め、販売強化に注力したい。「燕市チャンレンジファーマー支援事業」でも、スマート農業を推進していきたい。

問 担い手確保や若手農業者の育成に力を入れ、特に「踏み出せ！農業！スタートアップ事業」では新規就農に向けた研修などの支援を実施している。経営規模拡大などに積極的に取り組んで、今後も若手農業者向けの支援を強化したい。

問 若手農業者の増加を目指した具体的施策について伺う。

答 燕市の農業経営体数は、前回調査より259経営体（18.3%）減少、50歳～59歳は82人で、2015年に比べ50%以上減少している。これらのことから、農業者を増やすには「儲かる農業」を目指す必要がある。

年齢別基幹的農業従事者数



農業従事者の減少と高齢化が進む

問 耐暑性品種である新潟米「新之助」の積極的な導入について伺う。

答 「新之助」は、耐暑性の強い品種と改められて証明された結果となった。しかし、ブランド米としての価格維持の調整もあり、すぐに作付けを増やせない。今後は県やJAに作付けを拡大するため、より一層働きかけたい。



マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークーしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ **新型コロナワクチン接種** 燕市の保育園、こども園



録画映像

後遺症に寄り添った対応を

答弁 相談窓口で丁寧に対応していく

いなむらたかゆき
稲村隆行
(新風つばめ)



問 後遺症に寄り添った対応を相談窓口で丁寧に対応していく。市として支援金等を支給することは、現在考えていない。

答 ワクチン接種後の体調不良で、医療機関から検査で問題なしと診断された後に、何度もやり取りして因果関係が否定でき

問 市としてワクチン接種後の長引く副反応に対し、支援金等の独自の支援制度を導入する考えがあるか。

答 市としてワクチン接種後の長引く副反応に対し、支援金等の独自の支援制度を導入する考えがあるか。

問 ワクチン接種後の体調不良等の相談件数は、令和3年度から令和5年度11月末までで13件。相談内容は症状に対する受診先や相談先について、また後遺症が残った場合の救済制度についてであった。

答 ワクチン接種後の体調不良等の相談件数は、令和3年度から令和5年度11月末までで13件。相談内容は症状に対する受診先や相談先について、また後遺症が残った場合の救済制度についてであった。



全国では、11月13日時点で、健康被害認定が5,000件以上、約4,000件が未審査

問 新型コロナウイルスワクチンを含む予防接種後健康被害救済制度の申請が、全国ではコロナ禍前の30倍に増えており、審査が間に合っていない状況となっている。

答 そういった情報が多量にある。医療機関の間で、後遺症に対する意識に差がある状況であるため、市として後遺症で苦しむ方に、より一層の支援が必要ではないか。

質問項目▶ **冬季道路交通確保計画** 教育施設の防犯対策



録画映像

除雪車にGPS端末の導入を

答弁 国の交付金を活用し検討していく

おかやまひでよし
岡山秀義
(新風つばめ)



問 除雪車GPS端末の導入。位置情報や稼働時間等を取

答 GPS端末について、は新年度予算で国の交付金を活用し、システム

問 道路管理者と除雪委託業者、市民とで情報共有できるよう除雪車にGPS端末を導入し、リアルタイムで公開できるようにしてどうか。ペタランオペレーターの高齢化や少子化による労働者不足。若手育成も急務であるが、県同様「一人乗り（ワンオペ）」を検討すべきである。

答 GPS端末について、は新年度予算で国の交付金を活用し、システム

問 道路管理者と除雪委託業者、市民とで情報共有できるよう除雪車にGPS端末を導入し、リアルタイムで公開できるようにしてどうか。ペタランオペレーターの高齢化や少子化による労働者不足。若手育成も急務であるが、県同様「一人乗り（ワンオペ）」を検討すべきである。



市民の安全と社会生活を守ってくれる除雪作業。より安全、効率的になるよう新システム導入！

を導入すべく検討する。オペレーター担い手確保に向けた取り組みを進めている。県のワンオペ除雪の試行動向を燕市としても注視していく。除雪車購入時の補助金制度は、除雪機械の老朽化が新潟県全体の課題となっており、今後、他市の状況を調査していく。

質問項目▶ **キャリア教育** レジリエンス教育



録画映像

キャリア教育の拡充と周知を

答弁 取組周知強化、職業イベント開催予定

さいとうかずや
齋藤和也
(新風つばめ)



問 小学生から職業体験や仕事を知る機会があるのか。

答 Good Job ばめ推進事業など、現在取り組んで成果を収めている事業の充実や学校ではキャリアパスポートの活用を進め、保護者と子供たちが共に職業や進路選択について話し合う機会をより充実させていく。

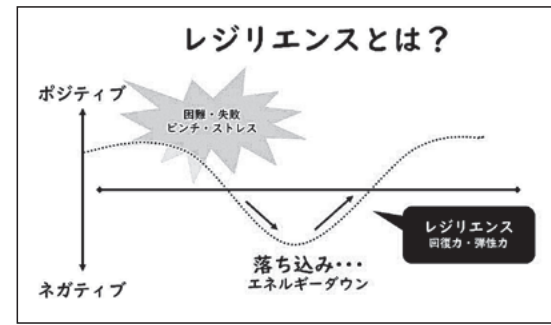
問 キッズニア東京のような体験イベント実施は考えているのか。

答 磨き屋一番館での体験や彫金などの体験のようなことを行っている学校もある。来年度は今のところそういった催物を行う予定で進めている。

問 レジリエンス教育の取り組みがあれば教えてほしい。

答 保健の学習でストレス対処する学習、道徳の学習で困難や失敗を乗り越える学習をしている。また、運動会や体育祭、持久走記録会、合唱祭などの学校行事を通して子供たちのレジリエンスは高まっ

問 今年度は各学校で新潟県自殺予防教育プログラムを活用し、SOSの出し方に関する教育という授業を行っている。自分の気持ちを言葉で表現できるようにし、悩んだときは信頼できる人に相談する方法を学んでいる。



レジリエンス教育のレジリエンスについての説明図

質問項目▶ **農業問題** 県央地域の医療再編と今後の県立吉田病院の役割



録画映像

農業問題で補助制度の確立へ

答弁 支援事業で農家の負担軽減に努力する

つちだ のぼる
土田 昇
(日本共産党議員団)



問 今年の米価については、異常な高温障害等で3等米や規格外の米が大量に発生して、各農家は厳しい経済状況にあると思う。近隣市町村では、緊急支援事業として10アル当たり5000円前後を補助している。燕市としても必要な制度と考える。1日も早く制度を確立すべきと思うが、市長の見解を伺う。

答 今年は、異常気象や原油高、円高等により、資材高騰等の影響で農業経営を取り巻く環境は厳しいものとなっている。農業者の経営努力だけでは、解決できないと考え、12月5日に燕市農業者営農継続緊急支援事業を議員に説明し、年内に支給できるようにしたい。本支援事業で農業者の皆さんの負担軽減につなげていきたいと思う。

問 農地中間管理機構が、平成26年から実施され、今年で契約が解除される。現状では引受け手がなくなると耕作放棄が出てくる可能性もあり、その点に

答 農地中間管理機構が、平成26年から実施され、今年で契約が解除される。現状では引受け手がなくなると耕作放棄が出てくる可能性もあり、その点に

問 今年の米価については、異常な高温障害等で3等米や規格外の米が大量に発生して、各農家は厳しい経済状況にあると思う。近隣市町村では、緊急支援事業として10アル当たり5000円前後を補助している。燕市としても必要な制度と考える。1日も早く制度を確立すべきと思うが、市長の見解を伺う。



異常気象や資材高騰などの影響から農産物を守るための支援が急がれる

答 耕作放棄地抑制に一定程度つながると考えるが、今後の動向を注視する。



マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークーしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶地域経済と小規模事業者支援 公共交通



録画映像

公共交通網の発信強化を

みやじとしひろ
宮路敏裕
(日本共産党議員団)



答弁 停留所改編情報は早く周知を行う

問 市の公共交通は認知が進み、大変期待されている。団塊世代が75歳

答 市の公共交通についての特集号を組む予定である。また、LINEやSNSの活用。地域の自治会長には直接お話しをして、地域の方に利用していただくことを考えている。

問 周知の方法についてどう考えているのか。

問 コミュニティバス利用者から燕労災病院の閉院による停留所の改編についてどうなるのか、心配の声を耳にする。早く情報が欲しいという声があるがいかがか。

答 今後、高齢者の運転免許返納増を背景に公共交通のニーズは高まると予想される。来年度実施のアンケート調査等を踏まえた次期計画を策定していく。



改編される
燕労災病院バス停

GIKAI TOPICS

市・政・発・展・に・尽・力

わたなべひろのぶ
渡邊広宣議員（8期）が、地方自治の進展に貢献した長年の功績を称えられ、新潟県知事から表彰されました。12月22日、議場において、表彰状と記念品の伝達が行われました。



地方自治功績
渡邊広宣議員

こちらにも
掲載しています



次回定例会は 3月6日(水) 開会予定です

委員会室で開催される3つの常任委員会と予算審査特別委員会の生中継と録画配信も行います。ぜひご覧ください。

議会中継は
こちらから



質問項目▶国の最も重要な課題の一つ、少子化について

空き家対策



録画映像

異次元の少子化対策について

たなかよしこ
田中淑子
(新風つばめ)



答弁 燕市独自の少子化対策を実施している

問 若い世代の住宅ローン負担を少しでも減らすため、空き家の再利用が有効であると考えますが、空き家対策の補助金等について伺う。

答 他市に先駆けて妊産婦医療にかかる窓口負担額ゼロや、18歳まで入院医療費全額助成、妊産婦のタクシークーポン発行等の経済的支援。物価高騰に対しては、子育て応援臨時給付金、給食材料価格上昇相当分支援などを実施し、市内外の方から「子育てするなら燕市で」と評価をいただき、少子化傾向を少しでも緩やかにできるよう取り組んでいきたい。

問 燕市独自の少子化対策を伺う。

答 国が「異次元の少子化対策」と言っているが、物価はどんどん上がり、給料はなかなか上がらない。若い世代の方々は生活に余裕はないが、本音として2人以上の子供が欲しいと願う夫婦が多いようである。



令和6年度のオープンを予定。全天候型子ども遊戯施設（イメージ）

問 空き家の再利用により、安価に住宅が確保可能と考える。住宅ストック有効利用を推進することは重要であると捉えている。空き家、空き地活用バンクに掲載されている建物を取得された方を対象として、空き家の改修費に対する助成を行っている。

質問項目▶公園の管理 交通安全施設の維持管理



録画映像

公園遊具の安全確保について

こばやしあきみつ
小林秋光
(新風つばめ)



答弁 効果的な修繕・撤去を実施する

問 公園施設長寿命化計画では29か所の公園を選定し、遊具やベンチなど全体的な設備を総合的に整備していく方針としている。

答 遊具の不具合や故障に関する連絡方法は、電話やホームページの問合せフォーム、公式LINEで受け付けている。閉庁時では警備員が

問 専門知識を有した資格者による点検のほか、利用者からの通報で劣化や損傷があった場合、一時的に使用を禁止し、修繕可否を確認の上、修復または撤去を検討する。

答 公園施設長寿命化計画では29か所の公園を選定し、遊具やベンチなど全体的な設備を総合的に整備していく方針としている。

問 公園遊具の安全管理について伺う。

答 燕市は「全天候型子ども遊戯施設」の開設を目指すなど、子供たちの安全な遊びを促進している。一方で公園内の遊具が破損したままになり、子供たちの遊び場を妨げている。公園施設長寿命化計画も進めているが、壊れた遊具は速やかに撤去し、安全な遊び場を提供すべきと考える。



子供たちの冒険心を刺激する公園の遊具。安全な環境での遊びが、創造性と成長を育む。

問 道路標識やカーブミラーなどの交通安全施設は9〜11月を点検重点期間としている。カーブミラーなどは、交通安全協会で年4回の交通安全運動期間のバトロールや自治会からの通報で点検・修繕を実施している。

答 道路標識は9〜11月を点検重点期間としている。カーブミラーなどは、交通安全協会で年4回の交通安全運動期間のバトロールや自治会からの通報で点検・修繕を実施している。

問 道路標識やカーブミラーなどの交通安全施設の維持管理について伺う。